

令和6年度

自己評価報告書

令和6年3月1日作成
若羽調理専門学校

若羽調理専門学校の教育理念・目的

学校法人若羽学園は、1945年12月に創立以来「食」一筋に至っています。家庭料理専門の「若羽調理専門学校」は、性別・年齢不問で誰でも好みの曜日と時間を選べるいろいろなコースを用意しています。

本校では、正しい食習慣のために、家庭料理を指導するだけでなく、大和に伝わる先人の知恵から生まれた郷土料理と食文化・食と健康、食と心の発育、食と社会などあらゆる面で『食育』の大切さを指導しています。

元気になる料理、心癒される料理、思わず笑顔になってしまう料理……。料理は、人生の特効薬です。中国には“医食

同源”という言葉があります。食物は体にいい薬であるという意味。その食物は、調理する料理人の腕と愛情で、食べる人の体だけでなく、心まで豊かにできる“料理”に変身するのです。あなたらしさをプラスしたオリジナルレシピで料理を作ってください。そして、食べる人を幸せな気持ちにしてあげられる作り手になってください。私たちはそんなあなたを応援する若羽調理専門学校です。

『わかばね』は料理の味や手順だけでなく、素材を慈しむ心、永い伝統と経験を生かして、常に社会の新しいニーズに応えています。

本校は『心の教育』が最大の特色です。また、少人数制の特徴を活かし、生徒ひとり一人の心に寄り添った思いやりあふれるきめ細かな指導が特徴です。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
教育方針(理念、目的、育成すべき人材像)が明確に定められ、伝えられているか。	4
教育方針(理念、目的、育成すべき人材像)が教職員、学生によく浸透しているか。	4
教職員が教育方針を踏まえた指導をしているか。	4
本校が社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いた活動をしているか。	3
在校生、卒業生が学校に誇りを持っているか。	4
各コースの教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズにむけて方向づけられているか。	3

①現状の認識

入学希望者に対して体験授業を行い、教育方針、指導方法等を詳しく説明している。
教職員の朝のミーティングを通じて、教育方針の確認をしている。
卒業生と会い、直に情報交換を行い、アフターケアを行っている。学んでよかったとの声をよく聞く。
他団体とも交流を含め、教育していく上で情報を共有している
SNSで授業風景やイベントなどを利用し、学校の持つ理念を理解してもらうように発信している。

②今後の課題と改善策

開校79年を迎え、知名度の高まりや学校の理念の浸透を実感している。更なる地域浸透度を高める事が課題である。
本校ホームページなどWEBによる発信や体験入学時における学校説明内容に学校のもつ理念をわかりやすく取り入れ発信する。

今後さらに地域貢献に注力し、知名度共に教育理念の浸透をはかる。

(2)学校運営

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか。	3
人事・給与に関する制度は整備されているか。	4
学校ホームページで可能な範囲の情報を公開しているか。	4
職員は校舎内外の施設設備を定期的に点検し、結果を的確に処理・報告(保全・点検)しているか。	4
学校内の情報、学生の個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3

①現状の認識

日々の打ち合わせの中でも「運営方針」に基づいた話を打ち出し明確にしている。
学生募集の目標値を策定し達成できるように職員が対応している。また、退学率の軽減にも努力している。
教員は関係者からの紹介等により採用している。
ホームページを活用して、学校情報の公開がしやすかつ閲覧者がみやすくなった。定期的な情報提供を心がけている。
学校施設は、常に整備点検している。職員が巡回点検を行っている。
パソコンの個人情報のセキュリティーは職員の周知を徹底している。

②今後の課題と改善策

学校運営に関する基盤は整っているといえる。しかし、今後の業務効率化を見据えた新たな情報システムの導入は遅れている状況。
規則など現存する情報を職員会議などを利用し、全教職員へ情報共有を強化していく事で体系化して業務の効率化を進める。また、
新たな教職員へは研修制度等を設け新規システム導入も含め効率化を図る。

(3)教育活動

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
--------------------------------------	----

コース等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	3
学科等の授業計画を各教科別に策定しているか。	4
授業評価の実施、評価体制があるか。	3
関連分野における先端的な知識、技術等を修得するための研修が行われているか。	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3

①現状の認識

本校の教育理念に合致した教育が行われており、学教員の年間授業予定表を作成し、それに沿った授業を行っている。
定期的な授業評価を行うことはあまりできていない。
介護食士取得の授業に関しては、学科と実技に分けて授業を設定し、資格取得にむけた取り組みを行っている。
資格、経歴等を踏まえて教員を採用するよう心がけている。退職者ができれば補充するかたちで採用している。
特別講習会として、業界でのスペシャリストの講義は教職員も聴講できるように配慮している。教員の視野を広げるとともに、それを本校生徒への指導という形で還元させている。

②今後の課題と改善策

教員の連携がさらに必要であり、効果的な学習や実習成果が出た工夫などを共有し、各自がさらに工夫できるように
する必要がある。
各分野における最先端の知識や技術などの情報は教員の研修などを行い生徒へと還元する。

(4)学修成果

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
資格取得率の向上が図られているか。	4
退学率の軽減が図られているか。	4
出席状況不良の生徒に早期に対応しているか。	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3

①現状の認識

資格取得に関しては十分な指導を行っているので、高い合格率を継続している。
在校生の社会的な活躍や評価は把握している。

②今後の課題と改善策

今後もきめ細かな指導を心がけて個別対応の充実を基軸にして資格取得率向上および退学率の軽減に努めていく。

(5)生徒支援

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
生徒相談に関する体制は整備されているか。	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3
生徒の健康管理を担う組織体制はあるか。	3

①現状の認識

日々の教育活動の中で常勤職員が個別の状況を観察し、教員間で情報共有している。
管理職の指導とサポートが退学者や休学者の減少につながった。
生徒の健康管理体制については、ほぼ確率されており、問題は生じていない。

②今後の課題と改善策

卒業生からの問い合わせ窓口の体制を引き続き整える。卒業生対象にWEBを利用した発信が出来る環境も整えていくべきである。

(6)教育環境

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
施設・設備は、教育上の必要に十分対応できるよう整備されているか。	3
実習施設について十分な教育体制を整備しているか。	4
ゴミの分別、省エネ、リサイクルなど環境への関心を高める教育をしているか。	4
校内掃除・校内美化に取り組んでいるか。	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか。	3

①現状の認識

法令で定められる設備は整っているが、ニーズに沿った教育を行うためには更なる設備の充実が必要である。
事務局を中心に防災体制を構築し、マニュアル化している。避難訓練も実施している。水、食料等の防災用品の備蓄を行っているが、準備不足も否めない。

②今後の課題と改善策

防災に対する準備は十分である。更に復旧段階における地域に対する復旧支援ができれば、社会的信頼度は格段に向上する。

(7)生徒の募集と受け入れ

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
生徒募集活動は適正に行われているか。	3
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3
志願者の問い合わせ対応・相談体制があるか。	4
入学選考は、適正に行われているか。	4

学納金は妥当なものとなっているか。	4
-------------------	---

①現状の認識

入学生減少の要因を多角的に分析し、教職員全員が協力し、真摯な募集を展開している。

志望者等の問い合わせや相談には、教職員全員が懇切丁寧に対応している。今後も、電話の取次ぎ時間のさらなる短縮を図り、相談者に不快な思いを抱かせることの無いよう、内部研修を実施し心を込めた対応に努めていきたい。

入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われている。

資格取得等の成果は直近のデータを職員会議で正確に伝えていて特に問題はない。

学納金は適切に取り扱っている。

②今後の課題と改善策

引き続き教育成果に関する情報が正確に伝わるよう工夫を継続し、適正な募集を行う。

入学を考える生徒は学科内容が大事だが学費は大きな問題。学生に対して明確に金額を打ち出し、明記する事は評価できる。

生徒の募集にあたり本校のPRが少し弱いと思われる。生徒数の激減は学校の命取りである。生徒募集活動に関しては本校のすばらしさをアピールできるよう、工夫するように努めていく。

(8)財務

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
中長期的な財務基盤は安定しているか。	3
学校運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか。	3
教育目標との整合性を図り単年度予算、中期計画を策定しているか。	3
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか。	4
適正に監査を実施しているか。	4
財務情報公開体制の整備、運用しているか。	3

①現状の認識

充実した専門教育の実施に必要な教職員を確保して学校運営を行っている。

顧問の公認会計士の指導を受けて各種の会計資料を作成し、その内容に関する情報及びその推移について把握することに、心がけている。

予算計画については、事業計画に基づく策定スケジュールに課題があり、検討が必要である。

公認会計士による日常および決算書類作成の会計指導が行われ、監事による会計監査を行っている。

②今後の課題と改善策

教職員全体が経費節約の意識を持ち、経営安定化を図るための今後も努力を行っていく。
生徒数増加のため、学校の設備や教育の充実を図るとともに、生徒募集に関して常に努力する。

(9)法令等の遵守

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
法令や設備基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	4
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	4
自己評価の実施体制を整備し評価しているか。	3
自己評価結果を公表しているか。	2
教育情報に関する情報公開を積極的におこなっているか。	3

①現状の認識

法令を遵守し学校運営にあたっている。
生徒ひとり一人の情報を厳重に取り扱うよう、職員全員に徹底を図っている。
自己評価においては教職員全員で検討し評価している。
教育情報に関しては規程に基づきホームページにて公表している。

②今後の課題と改善策

個人情報保護関連の規定策定は十分に整備されていないので、早急に整えていく。
今後、自己評価の結果をホームページにて公表する。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3
国際交流に取り組んでいるか。	3
学生のボランティア活動を奨励し具体的な活動支援を行っているか。	3

①現状の認識

学校施設の貸し出しについては、積極的に行っている。

韓国の学生が学校を訪問し、異文化交流を行った。

地域の料理教室に参加したり、子供食堂とのコラボを行った。

②今後の課題と改善策

社会貢献やボランティア活動は今後さらに進めていきたい。

(11)国際交流

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
海外での研修、提携校があるか。	2

①現状の認識

現在、海外留学の提携校はない。

②今後の課題と改善策

体制や予算、つながりが整えば、海外研修や国際交流も視野に入れていきたい。